
研究会報告

「量子力学の基礎について」*

(1981年12月4日受理)

上記の研究会が1980年12月9～11日、基研で開催された。参加者は素粒子論・物性論の範囲をこえ、約50名で盛会であった。

世話人 柳 瀬 睦 男 (上智大)
久 保 亮 五 (京大基研)
高 林 武 彦 (名大理)
荒 木 不二洋 (京大数研)
並 木 美喜雄 (早大理工)
町 田 茂 (京大理)

第1日

観測理論の総合報告と問題整理*： 並 木 美喜雄

観測の理論： 豊 沢 豊

第2日

連続な超選択則について*： 荒 木 不二洋

交換関係の拡張*： 山 田 一 夫

量子力学と実在†： 高 林 武 彦

「隠れた変数」の理論の実験的判定*： 町 田 茂

State Reduction をどう考えるか?*： 藤 原 出

SQUID と観測理論*： 中 嶋 貞 雄

Measurement theoretical approach to internal energy. : 中 込

第3日

確率過程としての量子力学： 江 沢 洋

*連絡責任者の個人的事情により、報告が遅れたことをお詫びします(町田)。